



株式会社大和証券グループ本社 グリーンファイナンス・フレームワーク

2024年1月

フレームワーク概要

当社のグリーンファイナンス・フレームワーク（以下、本フレームワーク）は、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則 2021」、環境省が定める「グリーンボンドガイドライン（2022年版）」及び「グリーンローンガイドライン（2022年版）」並びにローンマーケットアソシエーション（LMA）、アジア太平洋地域ローンマーケットアソシエーション（APLMA）及びローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）が定める「グリーンローン原則 2023」に基づき、以下の4つの要件に沿って策定されています。

1. 調達資金の用途
2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス
3. 調達資金の管理
4. レポーティング

1. 調達資金の用途

グリーンファイナンスで調達された資金は、以下の新規又は既存の適格グリーンプロジェクトに係る資金に充当される予定です。

適格グリーンプロジェクト	SDGs	適格クライテリア
再生可能エネルギー		以下の再生可能エネルギー発電の開発、建設、運営保守、取得のための支出又は投資 ・ 太陽光発電 ・ 風力発電 ・ 地熱発電（直接排出量が 100g-CO2/kWh を下回るもの） ・ 水力発電（発電容量が 20MW を超える大型のものを除く） ・ バイオマス発電（燃料の調達先が同県もしくは隣県であるもの）
グリーンビルディング		以下のいずれかの認証を取得済又は取得予定の高い環境性能を有する建築物の建設、取得、ならびに以下のいずれかの水準を満たす認証取得に資する改修のための支出又は投資 ・ DBJ Green Building 認証の 3 つ星、4 つ星、5 つ星 ・ CASBEE の B+ランク、A ランク、S ランク ・ BELS の 3 つ星、4 つ星、5 つ星

2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス

適格グリーンプロジェクトは、当社資金部が、必要に応じて当社及び当社の関係会社の専門的知見を有する関係部署と連携し、候補プロジェクトを適格クライテリアに従って評価・選定します。最終決定は、選定された適格グリーンプロジェクトをもとに最高財務責任者(CFO)が行います。

3. 調達資金の管理

調達資金の管理と充当は、当社資金部が行います。グリーンファイナンスによる調達資金の充当状況については、独立した台帳を用いて継続的に追跡・管理を行います。適格グリーンプロジェクトに充当予定の未充当資金については、その資金残高と同額を、現金又は現金同等物に一時的に投資し、実務上可能な限り速やかに適格グリーンプロジェクトに充当します。

4. レポーティング

① 資金充当状況レポーティング

当社は資金の充当状況について、グリーンファイナンスの残存期間中、調達資金の全額が適格グリーンプロジェクトに充当されるまでの間、ウェブサイトで年1回、また重要な変更があった場合必要に応じて、レポーティングを行います。この情報には以下の内容を掲載します。

- ・ 資金を充当した適格グリーンプロジェクトの概要
- ・ 資金充当額
- ・ ファイナンスとリファイナンスの別
- ・ 未充当分がある場合はその金額

② インパクト・レポーティング

当社は資金を充当した適格グリーンプロジェクトの環境改善効果について、グリーンファイナンスの残存期間中、ウェブサイトで年1回レポーティングを行います。この情報には実務上可能な範囲で以下の指標を掲載します。

再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none">・ CO2 排出削減量・ 発電量
グリーンビルディング	<ul style="list-style-type: none">・ 認証の種類・ レベル

以上

大和証券グループ本社

Daiwa Securities Group Inc.